

提 案 概 要

実施期日	7月28日(火)【午前】
部会名	小学校 外国語活動部会

1 提案テーマ 『どの子も楽しめる外国語活動の授業作りをめざして』

2 単元(題材) 「Body parts」

3 学年 第6学年

4 平成27・28年度神奈川県小学校教育課程研究会研究主題とのかかわり

- ① 積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成する学習指導、評価及び教材・教具の工夫
- ・外国語を用いてコミュニケーションを図る楽しさや大切さを感じさせる指導・評価の工夫
 - ・外国語を積極的に伝え合う態度を育てる教材・教具の開発や工夫

5 学習指導要領との関連

第4章 外国語活動 第2 内容〔第5学年及び第6学年〕

- 1 (1) 外国語を用いてコミュニケーションを図る楽しさを体験すること。
(2) 積極的に外国語を聞いたり、話したりすること。

6 実践に向けての課題意識

子どもたちは普段から国際教育指導助手の先生と仲良くなりたいという思いが強く、休み時間に先生を誘って一緒に遊んでいる。遊びのルールを伝えるときは、知っている英語を使いながら見本を見せ、ボディランゲージを駆使して理解してもらおうとする姿を見ることができる。

日々の授業では、子どもに英語で話すことを強要することはせず、まず聞くことを重視している。子どもたちは知っている単語を手がかりに教師の話の意味を考え、内容を一生懸命理解しようとする姿勢はある。また、理解できた子が、わからなくて困っている子に教えようとしている場面もよくある。

ただ、子どもたちにとって難しいと思われる表現や内容を提示すると、聞き取ることを諦め、とたんにやる気を失ってしまうこともあった。

子どもが自分の力で知っている言葉を聞き取り、そこから教師や友達が話していることを類推し、わかろうと努力する姿勢を育みたいと考えている。そのためにも、取り扱う内容は、子どもにとって興味があり、知的好奇心をくすぐられるようなものであるように、教材研究に取り組んでいる。

今回の授業では、体の部位に着目しながら各部位に骨はいくつあるのかという理科的な視点も加えて、英語を使ってコミュニケーションを図る楽しさが味わえるような活動を考えた。

7 実践の概要

○指導方法の工夫

- ・ティーチャーズトークを活用し、できる限り英語を使って、子どもたちにコミュニケーションを図った。
- ・グループで話し合う活動や全体での答えあわせを通して、コミュニケーションを図る活動場面を設定した。
- ・題材として、子ども全員に共通しているもので、なおかつ知的好奇心のもてるような教材の選択をする。

8 成果と課題

【成果】・ただ外国語を学ぶのではなく、「聞いてよかった」「取り組んで良かった」と思えるような内容を活動に取り入れることにより、子どもが興味をもって取り組んでいたこと。

- ・ふり返りカードを用いることにより、子どもたちが自分や友達の取組に対して頑張りや良さを見出せていること。

【課題】・テーマを選択する際、子どもの興味・関心を重視して取り組みやすい内容にしているが、年間を通して、偏りがないよう、バランスを考えて指導計画を組むこと。

- ・子どもの反応を見ながら、子どもが理解できる英語で適切に語りかけられるよう、教師の英語力を向上させる必要があること。

9 予想される協議の柱

- ・児童の知的好奇心をくすぐる題材や教材の工夫について